

Course number		U-LAS29 20033 SJ48					
Course title (and course title in English)		日本語教育演習 Seminar on Japanese Language Education		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Institute for Liberal Arts and Sciences Professor,PALIHAWADANA Ruchira	
Group		Languages		Field(Classification)			
Language of instruction		Japanese		Old group		Number of credits 2	
Number of weekly time blocks		1		Class style Seminar (Foreign language) (Face-to-face course)		Year/semesters 2025・First semester	
Days and periods		Thu.2		Target year 1st year students		Eligible students International students	
[Overview and purpose of the course]							
<p>日本語学習者の「日本語学習の目的」として「日本語そのものへの興味」が常に上位にランキングされる。その理由は果たして何か。学習者が日本語を通して体験する世界とは何か。本授業では、文学部・文学研究科の学生と共に、「魅力的な日本語」あるいは「習得が困難な日本語」の学習項目を選定し、それらを日研生の母語と比較しながら、多角的に分析することを通して、外的視点から日本語を考察する。日本人学生・日研生を含む混在グループで、誤用分析、用法分析、教科書分析を行いつつ、日本語の魅力、特徴に迫る。</p>							
[Course objectives]							
<p>本授業の到達目標は、</p> <p>(1) 日本語に対する相対的な見方を形成しつつ、その背景にある社会文化的な諸要素に対する理解力を高めること</p> <p>(2) 日本語教育の基礎を学びつつ、選定した学習項目・用法を基にその基礎的応用力を習得することである。</p>							
[Course schedule and contents)]							
<p>以下の通りに進めていく予定であるが、履修者の興味や背景に応じて変更する場合もある。</p> <p>第1回 日本語教育の現状、初級日本語学習者が経験する世界の疑似体験</p> <p>第2回 様々な教授法・シラバスタイプ</p> <p>第3回～第5回 「日本語を学ぶきっかけ」となる学習項目（授受表現、擬音語・擬態語、文字体系、位相など）を対象とした分析</p> <p>第6回～第7回 同上を対象とした教科書分析、指導提案</p> <p>第8回 グループ別中間発表</p> <p>第9回～第11回 学習困難な日本語（「は」と「が」の使い分け、主語の省略、配慮表現など）を対象とした誤用分析、用法分析</p> <p>第12回～第13回 同上を対象とした教科書分析、指導提案</p> <p>第14回 日本語の特質</p> <p>第15回 グループ別期末発表</p>							
[Course requirements]							
日本語・日本文化研修留学生専用科目							
[Evaluation methods and policy]							
<p>以下の通りに評価する。</p> <p>授業活動への参加度合：30%</p>							
<div>Continue to 日本語教育演習(2)</div>							

日本語教育演習(2)

中間・期末発表：各30%
期末レポート：40%
なお、演習科目であるため出席も重視する。

[Textbooks]

Not used

[References, etc.]

(References, etc.)
白川博之監修 『中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック』（スリーエーネットワーク）
ISBN:4-88319-201-6
川口義一・横溝紳一郎 『成長する教師のための日本語教育ガイドブック（上）』（ひつじ書房）
ISBN:4-89476-251-X
川口義一・横溝紳一郎 『成長する教師のための日本語教育ガイドブック（下）』（ひつじ書房）
ISBN:4-89476-252-8

[Study outside of class (preparation and review)]

事前準備や授業外の共同学習を積極的に行うことが求められる。

[Other information (office hours, etc.)]

木曜日4限（14:30～16:15）をオフィスアワーとする。
研究室：旧石油化学教室本館棟105号室
E-mailアドレス：palihawadana.ruchira.8n@kyoto-u.ac.jp

[Essential courses]